



健康の輪



編集●全国結核予防婦人団体連絡協議会事務局(結核予防会普及広報課内) 題字●初代会長 廣瀬勝代

結核予防事業資金寄附者感謝状贈呈式並びにお茶会開催



多額のご寄附を下された方に感謝状をお渡しになる秋篠宮妃殿下

平成23年5月27日、リーガロイヤルホテル東京（東京都新宿区）において、結核予防事業資金として多額のご寄附を下された方々や功績のあった方々に感謝状贈呈式で秋篠宮妃殿下より感謝状が授与されました。



お茶会にて寄附者とお言葉を交わされる秋篠宮妃殿下

結核研究所国際研修生との御懇談



国際研修生と御懇談になる秋篠宮妃殿下

平成23年7月20日、秋篠宮邸において、平成23年度「ストップ結核アクション研修－効果的な結核対策実施に向けたオペレーショナルリサーチ強化コース－」8カ国12名の研修生との懇談会で、秋篠宮妃殿下より一人一人にお言葉をかけられ、握手を交わされました。

ストップ結核アクション研修に 8カ国から12名参加

結核は世界的に依然として公衆衛生上の重要な疾患です。毎年新たに880万人の結核患者が発生し、140万人が結核で亡くなっています。結核予防会結核研究所はJICAの委託を受け、1963（昭和38）年から国際研修を開始しており、2,000人以上の修了生が各国に帰って活躍しています。

今年のストップ結核アクション研修は、「効果的な結核対策に向けたオペレーショナルリサーチ強化コース」として、8カ国12名が参加し、5月9日～7月29日、およそ3ヶ月間にわたって行われました。

研修は、結核対策に関する疫学、診断、治療、BCGなどの予防、新薬開発、社会学、結核とHIVの合併対策、多剤耐性結核対策など包括的結核対策の講義、演習が行われ、日本の結核対策の歴史と現状について学び、広島、大阪、京都、長野の現場を視察しました。また、それぞれの国の結核対策プログラムを改善するためのオペレーショナル研究計画を立てることを学びました。

7月20日には秋篠宮邸で懇談会が開かれました。結核予防会総裁秋篠宮妃殿下から研修生一人一人お言葉をかけていただきました。そ

れぞれの国の結核対策への使命も新たに、大きな励みとなったことでしょう。



研修の様子

カンボジア結核対策 スタディツアー 2011 中止

結核対策スタディツアーにつきましては、日頃より格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

11月に予定されておりました、カンボジア結核対策スタディツアーが、最少催行人数に満たないため、残念ながら、中止されることと決定されましたのでご報告いたします。

東日本大震災支援金のご報告

東日本大震災でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

今回の支援金につきましては、社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会では総額2,315,663円寄せられました。

東日本大震災に際しまして、心温まるご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。

報告

総額	……2,315,663円
岩手県地域婦人団体協議会へ	…… 500,000円
宮婦連健康を守る母の会へ	…… 500,000円
福島県健康を守る婦人連盟へ	…… 500,000円
結核予防会健康支援募金へ	…… 815,663円



会長就任ご挨拶

埼玉県地域婦人会連合会結核予防会 会長 柿沼 トミ子



このたび、前片貝弥生会長の後を受けまして、会長の重責を担わせていただくこととなりました。

何分、浅学非才の身でございます。皆様方の御指導・御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、結核をめぐる世界の状況に改めて目を向けてみますと、一年間に新患者が880万人、死者が140万人にも上っております。一国の人口、大都市人口にも匹敵するおそれるべき数値です。中国をはじめとするアジアや、アフリカ大陸に多いのが特徴とか。国際化が進展している中、世界の課題は日本の課題でもあります。現実に、日本でも毎年、2万3千人の新患者が発生しております。

一方、結核予防街頭キャンペーンで感じることは、皆様あまり結核に関心を払っていない。過去の病気と捉えているようにも見受けられます。まだまだ中蔓延国の日本としては、この状況に危機感を持たざるを得ません。これまでも地域や家庭を守り育ててきた婦人会として、今後とも、ことのほか結核予防には力を入れてゆく必要性を痛感しております。

微力ですが、頑張ったいいりたいと存じます。

徳島県結核予防婦人団体連合会 会長 藤田 育美



この度、徳島県結核予防婦人会会長に就任いたしました。会員の皆さんとともに協力し合っ活動をして

いきたいと考えておりますので、

どうかよろしくお願ひします。

結核は昔の病気と思っていた自分でしたが決して昔の病気ではなく、最近でも2万3千人以上の結核患者が発生し、その内、高齢者と若者に多いことです。今もなお主要な感染症であるということを知り、一人でも多くの人に伝え理解を求めていくことが私たちにできることだと思っています。

複十字シール募金は、強制的に買うのではなく、自主的に募金活動を進めていき、世界中で結核を撲滅するための活動です。この活動に参加し明るい社会実現のため組織を充実し普及活動を推進したいと思ひますので、よろしくご協力お願ひいたします。



婦人会の手で複十字チャリティーサイクルを日本全国へ

複十字チャリティーサイクル運動は、不要になった本・DVD・CD・ゲームソフト等を公益財団法人結核予防会が寄贈を受け、これを回収して買取業者（ブックオフオンライン株式会社）で換金を行い、複十字シール運動募金に寄附することを目的とします。不要になった本・DVD・CD・ゲームソフト等を約30点ダンボール箱に入れて梱包し、結核予防会普及広報課へFAX（チラシ兼申込書）または、電話（フリーダイヤル）0120-416864でお申込みいただければOKです。

結核のない世界の実現のために、皆様の温かい支援が是非とも必要です。複十字チャリティーサイクル運動にご協力お願ひいたします。

※ラモス氏が載っいて好評のチラシを無料で配布しております。（送料のみご負担願ひます）
お申込は、公益財団法人結核予防会 普及広報課まで

チャリティーの輪を日本全国へ広げよう！
複十字チャリティーサイクル運動

複十字チャリティーサイクル運動について
この運動を通じて、様々な病気を予防している健康な人々のサポートや、貧困や病気などで苦しんでいる人々の救済に貢献し、社会の発展に寄与することを目的としています。また、日本全国の結核予防会に活動資金として提供し、結核の撲滅に貢献することを目的としています。

ラモス製菓

STEP1 回収しおみ STEP2 届付 STEP3 募金

申込書 FAX 03-3292-9208 お申し込み日 月 日

氏名 _____ 電話番号 _____

住所 〒 _____

集積希望日時 月 日 午前中 午後 夕方以降

主催 公益財団法人結核予防会 千代田区三崎町1-3-12 ☎0120-416864

知事表敬訪問

岐阜県結核予防婦人部連合会 会長 竹中 昌子



今年の夏は暑い日が続きました。東日本大震災(3月11日)、台風12号、15号と日本列島を北上し多くの災害を受けました。そんな中でしたが、8月9日気温37.3度というとても暑い日、私たちは、県知事表敬訪問を実施致しました。上手副知事より優しい態度で迎えられて、複十字シール運動を更に協力していこうとご理解いただき約束して下さい

ました。県の担当者や私たちの現状報告等、なごやかな話し合いで有意義な嬉しいひとときとなりました。新聞社の写真にも快く写って下さって翌日の記事に載りました。

複十字シール運動で、結核予防を呼びかけている私たちを知って、若いお母さんがこんな話をして下さいました。「学校の先生から息子が結核にかかっていると知らされてびっくりしました。お医者さんの言われるようにきちんと薬を飲めば治るからと励まされ6カ月間薬



岐阜県・表敬訪問

を飲みました。本当にそうでした。今は、元気に学校に行っています」ホッとした嬉しい顔でした。また、結核健診で保育士が結核にかかっていることがわかり園児たちを健診したところ1人の子が感染していたというニュースに驚きました。

このように、結核は早期発見、早期治療が大切です。決して結核は過去の病気ではない、今も感染症であるということを、多くの人に伝えて行かなければならないと思います。今後も、イベントや人の多く集まる行事等に呼びかけを続けて参りたいと思っています。



輪之内町ふれあいフェスタ2010
平成22年10月2日(土)～3日(日)
中学生ボランティアも一緒に実施した
複十字シール募金活動



御嵩町婦人の会たなばたコンサート会
(御嵩町中央公民館)にて
平成22年7月3日(土)

熊本県健康を守る婦人の会 会長 東家 武子



複十字シールが開始された8月4日、結核予防会・健康を守る婦人の会で熊本県庁を訪問し、林田健康福祉部長へシール運動協力と支援をお願い致しました。その後、県内各地でキャンペーン等を行っています。



熊本県・表敬訪問



人吉・球磨の街頭キャンペーン



複十字シールキャンペーン活動

「健康の輪」さらに大きく

山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会
会長 丹 スワ子



秋たけなわの候となりました。

豪雪に始まり、3月の大震災、豪雨、台風12号、15号と大きな災害に見舞われた23年も、残すところ2か月となりました。

去る9月23日、がん征圧月間と24日からの結核予防週間に併せて、健康啓発イベント「みんなで広げよう！健康の輪2011」が開催されました。多くの県民に疾病の予防意識や知識の向上と健診の重要性の呼びかけを目的とし、健康啓発セミナーやラジオ公開生放送・街頭キャンペーン・セミナー会場では複十字シール募金を実施されました。

事務局である予防協会全職員に、山形まめの会（術後者の会）と私ども山婦協の会員も参加をさせて頂きました。

健康啓発セミナー第一部はタレントの向井亜紀さんを迎えての講演。「がんと向き合う～自分の身体と時間を大切に～」と題し、皆さんの寿命10年延ばしますとの大変興味ある話題から、妊娠と同時に子宮頸がんが見つかり、それも10年前に発病していることを知ったそうです。その後10数回の手術を受け、うつ病を乗り越えてきた事等の話をされました。大変明るく、「今は健康でとても幸せ!!」そんな言葉が伝わってくるようでした。

第二部では「健康で女子力UP!」をテーマに、健康トークセッション



が行われました。女性だけという事もあって、華やいだ雰囲気の中、にぎやかなトークが交わされていました。医師の柘植先生がおっしゃっていました健康あいうえお、皆さんも実践してみましよう。

あ《洗う》い《癒す》う《運動》え《エネルギー（良質）》お《思いやり（検診）》です。私の夫は胃がんが見つかり手術をしました。早期発見早期治療により、今は元気に働いています。でも本人とすれば大変ショックだったそうです。今もそんなのかもしれません。向井さんのお話にもあったように、どんなふう生きて行きたいのか見つめているところです。周りの人にも「楽しみ」を拡げながら。

京都市結核予防婦人会 会長 西脇 悦子



京都の三山は日毎に色付き、芸術文化の秋の10月末から11月末に掛けて京都国民文化祭2011が開催されます。多彩な行事が展開される中、参加できるのは先ず健康であればこそだと思っております。

私達、京都市地域女性連合会会員は、即結核予防婦人会会員として京都結核予防婦人会設立時より、表裏一体となり予防活動に取り組み、全国大会や総会・中央講習会等各研修会には多くの者が参加し研鑽を積み、正しく地域へ発信して行く事が最も大切だと思ひ活動しております。

以前、結核は不治の病と言われて恐れられておりましたが、現在は正しい治療法で薬を飲めば完治できる病気であるにも拘らず、途中で薬をや



めると菌は抵抗力をつけ多剤耐性菌となり治りにくくなってしまいます。

私は「故 青木正和先生」引率のもと結核予防婦人会の結核対策スタディツアー・ネパールへ研修に参りました。山岳地域の僻地では女性村民に識字学級が開かれており、読み書き、健康管理の話などもされておりました。また、結核患者の家族や病院等も訪問し、「ドッツ DOTS」法式で投与されている様子を知り、「自分の命を守り、病気を治すのにどうして管理されなければ服用できない」のか不思議でしたが、今日我が国に於いても、国民総てが結核は撲滅するだろうと思ひ込み、結核に対する認識が希薄になってきてドッツ投与が取り入れられるようになりました。知識が薄れ関心が低くなった時、また、罹患率が上がって行く恐ろしさを実感しています。

結核予防対策とガン早期発見には多くの者が学び、初期手当の大切さを次の世代に伝える事も大切です。毎年結核予防週間には京都駅前などで啓発活動を行うと共に、結核の予防とガンを考える集いをアスニーホールで開き、予防活動の大切さ、複十字シール草の根運動、子宮頸ガンワクチンのことなどを再認識し、共に健康で活躍しようと誓いました。



JOYさんが ストップ結核ボランティア大使に！

皆さんはタレントのJOYさん(26)をご存じですか？

身長190cm、イケメン*のとても魅力的な好青年です。そのJOYさんが今年3月に肺結核症で入院し、6月に退院されました。

結核予防会は、JOYさんに「結核予防の普及啓発に協力してほしい」とお願いしたところJOYさんは快くボランティアで引き受けてくださいました。

これまでの活動は、ストップ結核ボランティア大使として、7月15日に中目黒のスタジオで結核予防週間ポスターとパンフレット「結核の常識2011」の撮影、9月7日に厚生労働省でストップ結核ボランティア大使就任式ならびに記者会見という二つのアクションで、広く国民に結核予防への関心を喚起していただいております。

JOYさんは記者会見で、ご自身の入院体験と、今も服薬中であることなどを話し、すぐそばに結核はあると訴えました。去年の夏頃に熱やだるさで病院にかかり始め、医師は結核を疑わずに経過して、今年3月に入院して初めて



ストップ結核ボランティア大使就任式

結核とわかったとのことでした。結核への関心の低下は医療関係者にも及んでおり、きちんと受診したのに診断が遅れることが現実にあるということを知りました。

結核予防婦人会の方で、地域の皆さんに「結核」という病気を知ってもらう活動をぜひ推進していただきたいと思います。

※イケメンは、日本語で美男子を指す俗語です。

みんな、知ってほしい。

結核って、私たちの年代でもかかることがあるんだよ。でもね、正しい知識をもって、ちゃんと治療すれば治るんだ。もっとみんなに知ってほしい。結核のこと。

ストップ結核ボランティア大使

結核のない世界へ。

9/24 - 9/30 は、結核予防週間です。

このポスターについてのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。
〒100-0005 東京都千代田区千代田1-1-1 公益財団法人結核予防会 事務局 結核予防会本部
TEL: 03-3282-9288 FAX: 03-3282-9258 e-mail: kuby@jatahq.org
※このポスターは厚生労働省から提供されています。

公益財団法人結核予防会
http://www.jatahq.org

結核予防週間
ポスター

平成22年度複十字シール募金 結果報告

結核予防婦人会の皆さまには、結核予防週間における街頭キャンペーンなど様々な場を通じてご協力をいただき誠にありがとうございました。

平成22年度の複十字シール募金総額は、約3億1,465万円となりました。そのうち、婦人会の皆様の募金額は、約8,500万円となり全体の27.1%を占めております。

経費を除いた益金の使いみちは、表1のとおりです。

さて、本会が複十字シールを発行して今年で60年目となります。3月には、東日本大震災もあり自粛モードで、運動をやりにくい要因になると思います。シール運動は、募金を集めることだけが目的ではありません。結核予防の普及啓発も重要です。リーフ、シールを活用しシール運動を継続することが結核のない世界を実現する唯一の道なのです。今年も、本部、支部、婦人会が連携して頑張っていきましょう。婦人

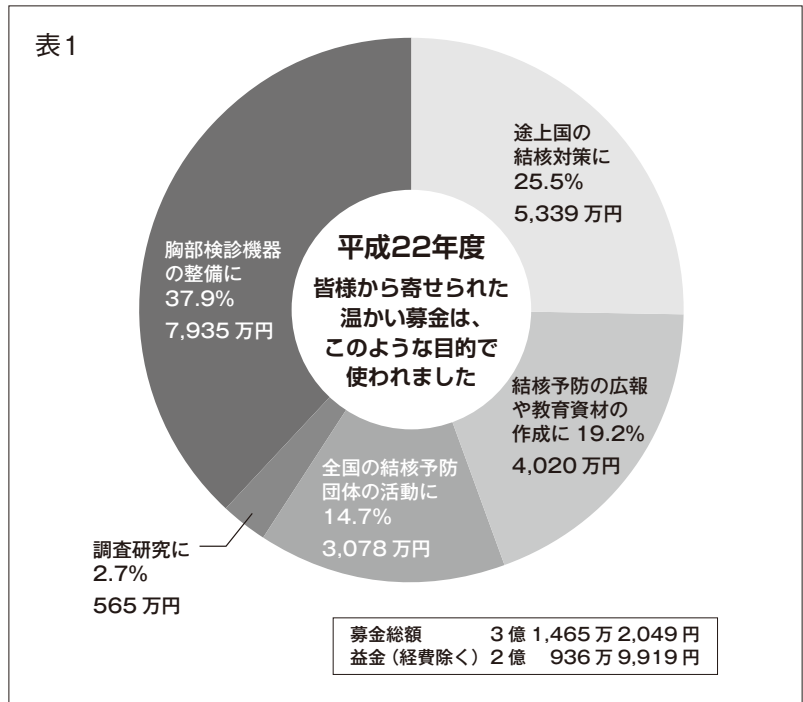
会の皆様のご協力が大きな力になっています。

また複十字チャリティーサイクルは、2年目に入り少しずつ参加が増えてきております。募金は、難しいけど、不要品ならという場合に最適

です。チラシは、普及広報課にあります（送料は、婦人会負担）。些細なことでも結構です、ご連絡をお待ちしております。

担当：普及広報課 03-3292-9287

表1



♪ 2011年 複十字シール♪



◆◆◆ 前担当者ご挨拶 ◆◆◆

社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会事務局として、3年間大変お世話になりましたが、この度、7月15日より異動になりました。

事務局として至らない私を、常に皆様の大きなお心で温かく接していただき、いつも支えてくださいましたことに深く感謝いたします。

後任は杉木則子が担当いたします。私同様皆

様のご指導、ご支援どうぞよろしく申し上げます。

皆様のご今後のますますのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。3年間ありがとうございました。

公益財団法人結核予防会第一健康相談所
健康支援部施設健診課 安田みゆき



(秋田県・akiponさんからの作品) 「今年から健康推進員になり、健康の輪No.102のイラストカット募集を見て、娘の作品を応募してみました。晶(akipon)の母より」

イラスト・カット募集

平成24年3月号(健康の輪No.104)に掲載するイラスト・カットを募集致します。

花・動物・その他、何でも結構です。

締切は、平成24年1月10日(当会必着)です。

全国結核予防婦人団体連絡協議会事務局宛

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

TEL: 03-3292-9288

